

2021年度 第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2022/3/30】

この試合のプレー集計

**B決勝**

京都踏水会

10

4	—	1
3	—	3
2	—	2
1	—	2

8

山口水球クラブ

審判:

南 隆尚  
荻野 浩明

京都踏水会	20	SH数	26	山口水球クラブ
	2	速攻数	2	
	8	ST・SB	9	
	10	SH・P誘発アシスト	7	
	56%	GK阻止率	33%	
3	EX反則数	2		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
京都踏水会	92	45	14	27	48	37	17	10	43	41.1%

(4試合計)

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
山口水球クラブ	78	34	19	15	34	45	8	15	21	47.5%

(4試合計)

**【試合の流れ】**

C区分の決勝戦と同じ「京都」-「山口」の一戦。ジュニア水球界では全区分で強さを誇る京都踏水会であるが、山口水球が準決勝をペナルティ戦で勝ち上がった勢いで制覇できるか。

京都は⑤井上のシュート力、⑨本部の破壊力で相手をねじ伏せてきた感があるが、対戦チームからはかなりマークされていたこともあり、実際にはほとんど試合が接戦となった。それでも勝ち上がれる強さが京都にはある。山口の挑戦をどう受け止めるのか楽しみな一戦。

1P

開始直後、京都⑤井上のミドルレンジからのストレートシュートがゴールネットを揺らして京都が先制すると、山口のパスミスから⑤井上が決めるなど、京都が完全に主導権を握った展開となった(京都踏水会4-1山口水球)。

2P

山口が2点目を取った直後、左サイドの難しい位置から⑨本部が決めて京都ペースを守った。山口も徐々に自分たちのリズムを取り戻そうとしたが、京都の退水攻撃時に⑤井上からの見事なタップパスを③岡本が決めて3点差、山口は左45° から③河原が決めて2点差に詰めた。しかし京都は⑤井上からのパスを受けた⑨本部が決めて京都踏水会7-4山口水球の3点差で前半を折り返した。

3P

山口はセンター②若月に集めて得点したが、すかさず京都も③岡本のセンターシュートで3点差という取って取られての攻防が続いたが、シュート力のある⑤井上をフリーにすることが多く、特に、カウンター攻撃中でのマークが不徹底な場面が連続していて、そこを突かれることで点差を詰められない状況が続いた。このピリオドも同点で、京都9-6山口の3点差のまま。

4P

山口②若月がインターセプトからそのまま右サイドを泳いでシュートを決めて2点差にすると、④村岡がコーナースローを直接決めて1点差。一気に山口ペースかと思っただが、ルーズボール処理を京都側が取ってそのまま4-3カウンター攻撃となって決定的な10点目をあげて、京都踏水会10-8山口水球という結果で決勝戦を終了した。

山口としては、エース②若月へのパスを躊躇する場面が多くあったが、ダブルマークでも突破できる力を持っている選手だけに、もっと②若月を使うチャレンジを序盤から展開することもあったかもしれない。